

- 問1 江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれましたが、その理由を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 全国の諸藩が年貢米や特産物を売り出すための蔵屋敷を置き、物資の流通拠点となったため。
 2. 日本海側から江戸へ直接物資を運ぶ東まわり航路の終着点として、巨大な市場が形成されたため。
 3. 将軍の膝元として政治の中心地となり、武士が必要とする生活用品がすべて生産されたため。
 4. 外国との貿易が唯一認められた港を持ち、海外の珍しい産物が全国へと送り出されたため。
- 問2 江戸時代初期の1637年、島原・天草地方で発生した大規模な一揆についての説明として、当時の社会状況や発生の原因を背景とした記述として最も適切なものを選択してください。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 鎖国によって貿易の利益が失われたことを不服とした商人と農民が、長崎奉行所の解体を求めた。
 2. 江戸幕府が発令した外国船打払令に反発したキリシタンたちが、通商の自由を求めて武装蜂起した。
 3. キリシタン大名が領地を没収されたことに反対し、関ヶ原の戦いの残党とともに幕府の転覆を狙った。
 4. 領主による過酷な年貢の取り立てに加え、キリスト教に対する激しい弾圧が行われたことが原因で発生した。
- 問3 江戸時代後期の綿織物などの生産において、商人が自ら作業場を設け、そこに多くの働き手を集めて、分業によって製品を効率よく仕上げる生産様式を何といいますか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 地主制農業
 2. 工場制手工業（マニファクチュア）
 3. 問屋制家内工業
 4. 工場制機械工業
- 問4 三代将軍徳川家光によって制度化された参勤交代について、この制度が幕府の支配体制に与えた影響や目的として最も適切な説明を次の中から選んでください。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 外国の軍隊による攻撃に備え、全国の大名を江戸に集めて防衛会議を頻繁に行うようにした。
 2. 江戸の町を活性化させるため、全国の特産物を江戸に集める物流拠点の整備を目的とした。
 3. 大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、諸藩の軍事を蓄えさせないようにした。
 4. 大名の領地経営を安定させるため、1年ごとに幕府が直接統治を代行する仕組みを整えた。
- 問5 江戸幕府が、それまで推奨していた朱印船貿易を制限し、1635年に日本人の海外渡航を禁止した主な背景と目的として適切な説明を選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. 東南アジアでの日本町が衰退し、日本人町を保護するための軍事的な支援が困難になったため。
 2. イギリスやロシアが日本近海に接近したことを受け、沿岸の防備を固めるためにすべての港を閉鎖するため。
 3. キリスト教の広まりが幕府の支配を揺るがすことを恐れ、禁教を徹底するとともに、幕府が貿易による利益を独占するため。
 4. 国内の銀の流出を防ぐため、金貨を中心とした経済体制へ移行し、外国との取引をすべて停止させるため。
- 問6 江戸幕府が、全国の大名を統制するために城の無断修理や許可のない婚姻を禁じる目的で制定した法令と、朝廷や公家を監視するために京都に設置した役職の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 「公事方御定書」と「町奉行」
 2. 「御成敗式目」と「六波羅探題」
 3. 「武家諸法度」と「京都所司代」
 4. 「武家諸法度」と「問注所」
- 問7 江戸幕府が全国の経済を支配し、幕藩体制を安定させるためにとった政策として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 主要な金山や銀山などの鉱山を幕府が直接支配し、貨幣を発行する権利を独占した。
 2. 幕府の直轄地である天領をすべて廃止し、村々の名主に参勤交代を義務付けることで地方支配を強化した。
 3. 大老を常に置くことで政治の実権を集中させ、全国の主要な都市をすべて各大名に分割して統治させた。
 4. 各地の有力な大名に金山や銀山の管理を任せ、藩ごとに独自の金貨を自由に発行させた。
- 問8 江戸の市街地の土地利用について述べた次の文の空欄にあてはまる用語として正しいものを、後の選択肢から一つ選びなさい。「江戸の市街地は、江戸城を中心に中山道や日光街道などの街道がのびる構造になっていた。土地利用の割合を見ると、参勤交代によって全国から集まった大名やその家臣が居住した（ ）が、市街地全体の面積の約半分以上を占めていた。」 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 寺社地
 2. 門前町
 3. 武家地
 4. 町人地
- 問9 日本の歴史において、明治政府による諸改革が断行され、欧米の制度や技術を導入して国家の仕組みが大きく変化した時期を「近代」と呼ぶ。この区分が始まる契機として最も適切な説明はどれか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. 明治政府による文明開化や中央集権化の推進
 2. 平安貴族による国風文化の発展
 3. 戦国大名による分国法の制定
 4. 江戸幕府による参勤交代の制度化
- 問10 江戸幕府の第5代将軍・徳川綱吉は、それまでの武力による統治を改め、学問や礼儀を重んじる「文治政治」を推進しました。この政治において、綱吉が武士に対して特に奨励し、幕府の統治理念として活用した、上下の関係や礼儀を重視する学問は何ですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 蘭学
 2. 儒学（朱子学）
 3. 神道
 4. 国学
- 問11 18世紀後半、享保の改革と寛政の改革の間の時期に行われた政治改革では、海外貿易や新領土の調査など、外向きの積極的な政策が見られました。この時期の長崎貿易において、金や銀の流出を防ぐために輸出が推奨された品物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 生糸や、高麗人参などの薬品類
 2. 銅や、俵物と呼ばれる海産物の加工品
 3. 陶磁器や、浮世絵などの文化作品
 4. お茶や、国内で生産された生糸
- 問12 江戸時代、農業技術の進歩に伴い、農村にも貨幣経済が広く浸透していきました。当時の農民の生活や経済の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)
1. 幕府が有力な商人に独自の貨幣を発行する権利を与えたため、農村でも商人が発行した貨幣が流通の主流となった。
 2. 五街道が整備されたことにより、都市部でのみ貨幣が使われるようになり、農村では物々交換による自給自足が強化された。
 3. 農具の改良が進んだことで、すべての農具を村の中で自作できるようになり、外部から購入するための貨幣は不要となった。
 4. 備中ぐわなどの効率的な農具や、干鰯などの肥料を購入する必要が生じたため、商品作物を売って貨幣を得るようになった。
- 問13 1615年に制定された、諸大名に城の無断修理や新築を禁止し、許可のない結婚を認めていなかった法律で、幕府が大名を支配するために出したものを何といいますか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
1. 武家諸法度
 2. 御成敗式目
 3. 禁中並公家諸法度
 4. 公事方御定書